

今年度で昭和61年8月洪水から30年
過去の洪水を風化させず、後世への「伝承」を目指します

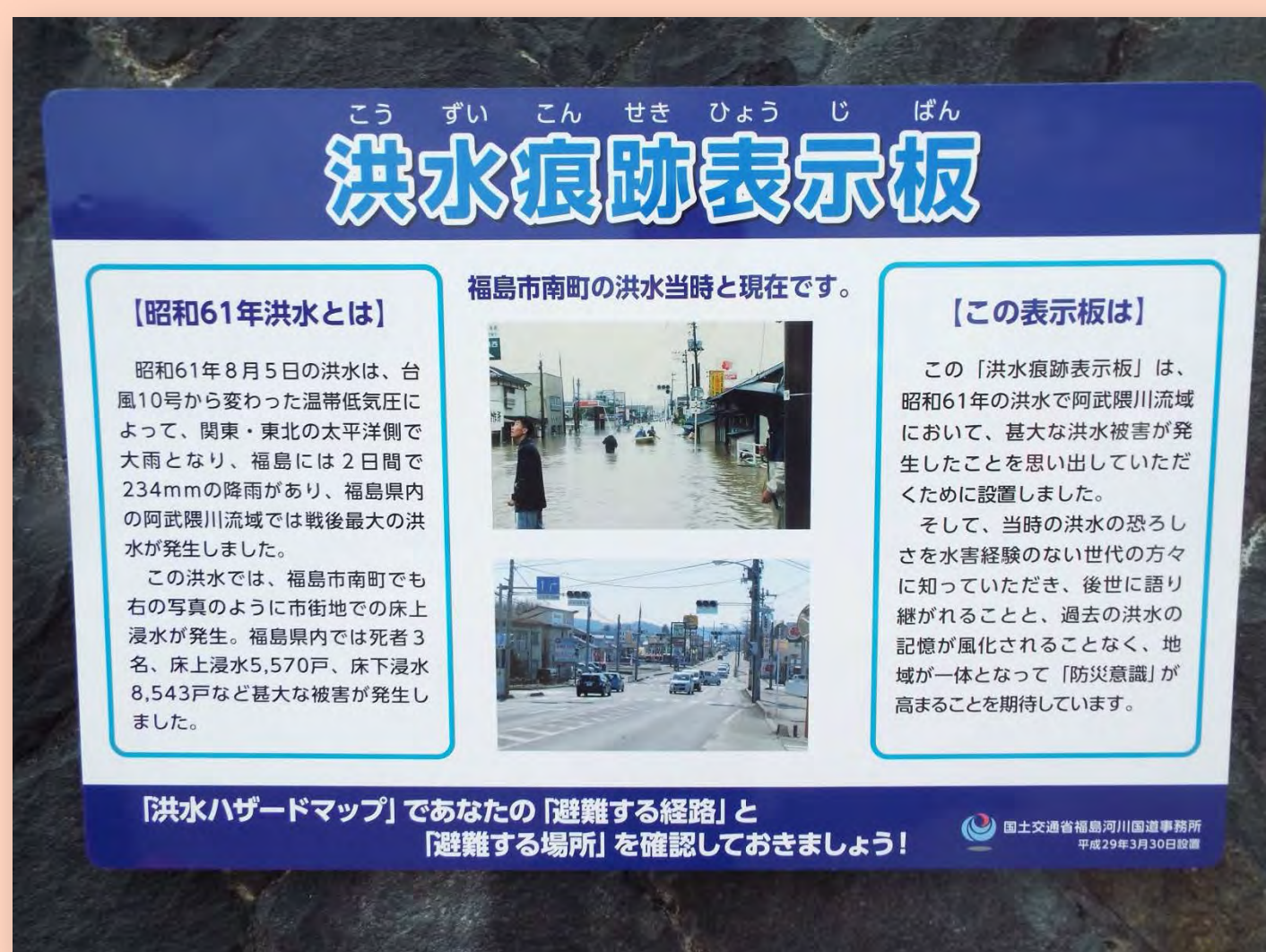
阿武隈川「隈畔」リニューアルオープンにあわせ、 洪水痕跡表示板の除幕式を実施しました！

隈畔とは？

- 隈畔とは「阿武隈川の河畔」を略した造語です。
- かつての福島城跡。江戸時代に盛んだった舟運の基地。
- 平成元年洪水等を契機に福島河岸船着き場を再現。
- 歴史文化を活かした水辺環境整備のモデルケースとして再整備されています。



今回設置した表示板について



ポイント
阿武隈川の戦後最大の洪水であるS61洪水の概要や浸水箇所と比較をしています。

除染が完了し、リニューアルオープン式を実施しました！



清明小学校児童による「オープン宣言」

日時：平成29年3月30日（木）
13時30分～
場所：阿武隈川隈畔地区
（天神橋上流左岸）
主催：NPO法人御倉町かいけい
まちづくり協議会
福島市、福島河川国道事務所
式典での主な内容：
①リニューアルオープン式
・清明小学校児童による「オープン宣言」
②洪水痕跡表示板除幕式
・洪水痕跡表示板お披露目

【概要説明板】設置した表示板の趣旨説明を行いました！



ポイント
阿武隈川の主要洪水(S61, H10, H14)で実際に水位が上がった高さを表示しています！

【表示板】どなたでも過去の痕跡表示をご覧になれます！

阿武隈川隈畔地区（県庁裏）の除染工事が完了しましたので、リニューアルオープン式を実施しました。

また、今年度で昭和61年8月洪水から30年の節目にあわせ、過去の洪水を風化させず、後世への「伝承」、そして「文化」を目指し、洪水痕跡表示板の除幕式を実施しました。